

一般質問通告一覧

平成26年第1回島田市議会定例会
平成26年3月10日・11日・12日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

【代表質問】

(頁)

平成26年3月10日(月)

14番	紅林 貢	議員	(新	風：一問一答)	1
18番	藤本 善男	議員	(創 造 島	田：一問一答)	2
9番	村田千鶴子	議員	(魁 し ま	だ：一問一答)	3
17番	大石 節雄	議員	(清 流	会：一問一答)	4

【個人質問】

5番	山本 孝夫	議員	(一問一答)	5
1番	青山 真虎	議員	(一問一答)	6

平成26年3月11日(火)

7番	仲田 裕子	議員	(一問一答)	7
13番	福田 正男	議員	(一問一答)	8
2番	杉野 直樹	議員	(一問一答)	9
12番	河原崎 聖	議員	(一問一答)	10
3番	横田川 真人	議員	(一問一答)	11
19番	八木 伸雄	議員	(一問一答)	12
8番	清水 唯史	議員	(一問一答)	13

平成26年3月12日(水)

4番	伊藤 孝	議員	(一問一答)	14
11番	桜井 洋子	議員	(一問一答)	15
6番	森 伸一	議員	(一問一答)	16

○傍聴される皆様へ

1. 平成26年3月10日（月）代表質問・個人質問の質問時刻の目安

議員	1人目 (代表)	2人目 (代表)	3人目 (代表)		4人目 (代表)	5人目 (個人)	6人目 (個人)
質問時刻	9:30～ 10:30	10:30～ 11:30	11:30～ 12:00	13:00～ 13:30	13:30～ 14:30	14:40～ 15:30	15:30～ 16:20

※ あくまでも目安です。議員により質問時間は前後しますので、余裕を持ってお越しください。

2. 平成26年3月11日（火）、12日（水）個人質問の質問時刻の目安

議員	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時刻	9:30～ 10:20	10:20～ 11:10	11:10～ 12:00	13:00～ 13:50	13:50～ 14:40	14:50～ 15:40	15:40～ 16:30

※ あくまでも目安です。議員により質問時間は前後しますので、余裕を持ってお越しください。

2. 質問の方式の違い

代表質問	一問一答方式	60分以内（当局の答弁を含む。質問回数制限なし）
	包括方式	40分以内（当局の答弁は含まない。質問回数3回まで）
個人質問	一問一答方式	50分以内（当局の答弁を含む。質問回数制限なし）
	包括方式	30分以内（当局の答弁は含まない。質問回数3回まで）

【 代 表 質 問 】

1. 14番 紅林 貢 議員 (新風) (一問一答)

1. 市議会の要請書への当局の対応と後期基本計画について

- (1) 前期5カ年をどのように評価しているか。
- (2) 前期の評価を後期基本計画の事業実施にどう生かしていくのか。
- (3) 後期基本計画において、めざそう値の根拠となっているものは何か。
- (4) 後期基本計画の投資的経費は物価の上昇、資材費の値上がり、消費税率の引き上げを織り込んであるのか。
- (5) 事業仕分けを行う目的は、また、どのような効果を期待しているか。

2. 川根温泉と川根温泉ホテルのにぎわいについて

(1) 川根温泉の施設について

- ① 劣化が進んでいるバーデ棟の改築の予定はあるか。
- ② コテージは露天風呂がある施設は平日でも予約でほぼ満室と聞いているが、拡充の予定はないか。
- ③ 農業体験棟、パターゴルフ場の利用状況はどうか。

(2) 川根温泉ホテル利用増への取り組みについて

- ① 島田市は川根温泉ホテルのにぎわいをつくり出すためにどのような取り組みをするのか。
 - ② それぞれの施設の指定管理者である株式会社川根町温泉と株式会社時之栖、島田市が川根地区の発展に向けどう連携していくのか。
- (3) 大井川鐵道の大幅な減便により川根地区をはじめ沿線住民にどのような影響があると考えるか。

2. 18番 藤本善男 議員（創造島田） （一問一答）

1. 平成26年度施政方針について

(1) 後期基本計画の策定について

- ① 条例制定により計画期間を5年から4年へと短縮した後期基本計画の意義とは何か。
- ② 自治基本条例制定、公共施設白書の作成、最終処分場の検討などを新規事業として位置づけた理由を伺う。
- ③ 教育の充実として後期計画に盛り込まれている川根小学校、川根図書館の併設手法と今後の中長期改修計画での手法活用の可能性はいかがか。

(2) 「安全・安心の確保」について

- ① 「安全・安心実感都市の創造」に向けた3つの取り組みと後期基本計画の3つの重点プロジェクトはどのような関係にあるか。
- ② 「医療の充実」の取り組みについて、これまで行ってきた地域連携と今後の具体的な強化策を伺う。

2. 新市立島田市民病院の建設と安定した病院経営の実現について

(1) 基本構想の策定について

- ① 平成21年3月の新病院基本構想と今回手がける基本構想の策定手法としての違いは何か。
- ② 過去に策定された基本構想や基本計画策定支援業務報告書の内容は、どのように基本構想へ生かすのか。
- ③ 基本構想策定に際し、市から業務委託先に前提条件として提示した方針は何か。
- ④ プロポーザル実施に際し、業務委託先から示された建設場所、病院の機能・規模、総事業費などの検討方法はどのようなものであったか。
- ⑤ 島田市が抱える将来のまちづくりや人手不足、資材不足による建設コスト上昇懸念などの諸課題は、基本構想策定の中でどのように考慮されるのか。
- ⑥ 医療関係者、市民、議会からの意見はどのように集約し、基本構想に織り込むのか。
- ⑦ 業務委託先での基本構想（案）策定から基本構想完成までのスケジュール及び基本計画策定に向けたその後の計画はどのようなになるか。

(2) 安定した病院経営に向けた取り組みについて

- ① 医師・看護師確保に向けた市民病院と市長部局との役割分担及びこれまでの取り組み状況はどうか。
- ② 今後の一般会計から病院事業会計への繰出金額の見通しはどうか。
- ③ 新病院建設の財源確保はどのように進めるか。

3. 9番 村田千鶴子 議員 (魁しまだ) (一問一答)

1. 施政方針と予算の大綱について

市長は就任以来、市民の意見を反映していくというプロセスを重視して行政執行に当たっている。平成26年度の当初予算の大綱にもその姿勢が見られ、新規事業として「自治基本条例」、「事業仕分け」、「公共施設マネジメント」を上げ、「島田市ゆめ・みらい百人会議」と同時進行の施策方針である。

こうした施策への取り組みは市民主体の方針として理解するが、一方で市長は、地方自治法によって広範な判断、裁量権を付与されている。こうした観点から以下について市長の見解を伺う。

(1) 広域連携への取り組み

- ① 今抱えている行政区域を超えた広域課題は何か。
- ② 観光連携を結んでいる静岡県中部地区観光協議会（5市2町）、三市一町広域観光連携協議会の具体的な取り組みは何か。
- ③ 新たに設置する「広域公共施設マネジメント協議会」の目的及び計画の策定方針を伺う。
- ④ 公共施設白書の対象となる施設と策定スケジュールを伺う。

(2) 市民会館の存続について

- ① 総合的な文化施設の必要性について、市長の見解を伺う。
- ② 耐震工法を検証中とのことであるが、仮に耐震工法をとらない場合の方策は考えているのか。
- ③ 「市民会館の再建を願う要望書」の署名活動について把握しているか。

(3) 事業仕分けによる外部の視点からの評価について

- ① 方法、委員構成、一部事業におけるとあるが対象事務事業は何か。
- ② スケジュール及び評価の反映方法について伺う。

4. 17番 大石節雄 議員 (清流会) (一問一答)

1. 中山間地域の振興策について

最近、中山間地域、里山などが見直されてきている。しかし、現状は、厳しい農業条件の地形や農林業従事者の高齢化、少子化、人口減少による不活性化傾向にある。このような現状を回避するためには、市民、行政、議会がともに問題を共有し地域の宝として中山間地域が位置づけられる事を期待する。

そこで、市長の施政方針、新年度予算、後期基本計画の中の中山間地域に関わる点について以下、質問する。

(1) 産業の振興について

- ① 茶価が低迷している中で、市として具体的な対策はあるか伺う。
- ② 交流人口拡大による地域経済の活性化に向けた観光振興策を伺う。
- ③ 林業に対する具体的な振興策を伺う。

(2) 公共交通の課題について

- ① 大井川鐵道の経営危機によるダイヤ改正の市民に対する影響はどうか伺う。
- ② 今後考えられる対応策はあるか伺う。

(3) 自然環境保全について

- ① リニア中央新幹線整備計画による大井川の水量等の自然環境への影響は、どの程度か伺う。
- ② 今後どのように対応していくか伺う。

(4) 定住促進について

- ① 市が取り組んでいる具体的な対応について伺う。
- ② 定住促進の課題、問題点は何か伺う。

(5) 中山間地域振興基本条例の制定の考えはあるか伺う。

2. 危機管理対策について

災害はいつ訪れるかわからない。常時危機意識を持つことは重要なことである。そうした中、11月議会において、危機管理部、健やか・こども部が設置される議案が可決された。特に危機管理部のあり方について、以下質問する。

(1) 新設する危機管理部について

- ① 担当課と業務内容、人員配置はどのようになるか伺う。
- ② 現在ある防災計画の見直しは行うのか伺う。
- ③ 危機管理部の設置による期待する効果を伺う。

3. 後期基本計画における評価、検証について

(1) 事業評価、検証について

- ① アンケートをとる予定だが、市民にわかりやすい評価基準はあるのか伺う。
- ② 実施事業のアウトカム指標の具体的なものはあるのか伺う。
- ③ 目標値は設定されているが、4年後の財政的裏づけはあるのか伺う。

【個人質問】

5. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 財政面からこれからの市政運営を問う。

(1) 現状について問う。

- ① 平成25年度末における指標のうち、経常収支比率、将来負担比率、財政力指数はそれぞれ幾つになる見込みか。
- ② 公債費が高い状態が続いている要因は何か。同時に財政調整基金の積立がこれまで行うことができた要因は何か。

(2) これからの見通しについて問う。

- ① 歳入をふやす施策は何か。
- ② 平成25年8月に作成された投資的経費主要事業計画書に記載されている事業のほかに、今後計画される事業は何か。
- ③ 平成26年度から29年度における指標のうち、経常収支比率、将来負担比率、財政力指数の目標値はそれぞれ幾つか。
- ④ 財政評価は今後どのように行っていくか。

2. しまだ大井川マラソンinリバティについて

(1) 平成25年度実施大会について

- ① 申込者数、参加者数、完走者数はどれだけか。
- ② 良かった点、悪かった点は何か。
- ③ 参加者の意見などは何かあったか。

(2) 平成26年度実施予定大会について

- ① 予定募集人数は何人か。
- ② 実施内容の改善は何かあるか。

6. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 市長の選挙公約と実施の事業の整合性について
2. リニア新幹線による大井川渇水や浜岡原発など、安心・安全の視点からその対応について
3. 大井川鐵道のこれから

7. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 障害者支援について

「島田市の障害者福祉の推進は地域社会における生活及び就労支援や自立に向けた相談支援を行い地域生活支援に努める」と平成26年度予算の大綱の中で述べている。また、島田市後期基本計画の中にも障害者福祉の推進が明記されている。

そのことを踏まえ平成26年度予算が示された。以下質問する。

- (1) 染谷市長は、島田市における障害者支援は充実していると考えているか伺う。
- (2) 島田市には三障害者を支援する施設が多くあるが、そのうち精神障害者を支援する施設は何団体あるのか伺う。
- (3) 予算3款1項2目障害福祉サービス費には多くの支援事業がある。昨年度の予算額と比較して主に予算措置で変わっている事業を伺う。

2. 基幹産業である茶に対する施策について

染谷市長は、かつてJA女性部に対し具体的施策を示した。急須で淹れたお茶の味は、子供のころから舌で覚えるものとの考えは、まさに共感している。若い世代のお茶離れ、また茶価の低迷による茶産業の深刻な後継者問題は、島田市にとっては大きな課題となっている。そこで基幹産業である茶を元気にするための島田市独自の施策を伺う。

3. 金谷地域の主な道路の整備について

金谷地域の道路整備については、後期基本計画にも記載されたように着々と進められている。進捗状況を以下伺う。

- (1) 横岡新田牛尾線の今後について
- (2) 島竹下線改良事業の今後について
- (3) 後期基本計画に掲載されない金谷地域の道路整備の今後の計画について

8. 13番 福田正男 議員 (一問一答)

1. 島田市の成長戦略とは何か。

安倍政権が誕生して足かけ3年目を迎えようとしている。アベノミクスの3本の矢、いわゆる金融政策、財政政策、成長戦略のうちの金融政策と財政政策が浸透し、円安や株高が実現され、デフレから脱却しようとしている。しかしながら、景気が少し上向いたとはいえ地方まで行き届いていないのが現状である。特に静岡県は低迷している。アベノミクスの最後の矢である成長戦略がどういう手法で示されるのか大いに期待するところである。そこで島田市の成長戦略とは何かという視点から、次の点を質問してみたい。

- (1) 市内の企業の育成、発展について市はどう考えているか。
- (2) 国の国土強靱化法が去年制定され、今年度から事業がスタートするが、市としてどのように取り組んでいくつもりか。
- (3) 2020年東京オリンピックのマラソンの合宿候補地として手を挙げるつもりはないか。
- (4) 観光交流人口をふやす政策は市として考えているのか。
- (5) 商店街の活性化策はどうか。
- (6) 再生可能エネルギーの振興策は、どのように考えているか。
- (7) 島田ブランドの確立のための施策は何か考えているか。

2. 健康長寿日本一を目指して

- (1) 市民の平均寿命、お達者度はどの程度か。
- (2) 市民の健康課題についてどのように分析しているか。
- (3) 国民健康保険事業特別会計も非常に厳しいと聞いている。市民の健康増進を図ることが急務と考えている。その対策は何か。
- (4) 健康への関心を高めていくには、健康マイレージ事業を推進していくことが重要と考える。その考えはあるか。

9. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 大規模地震発生時、市の減災に対する備えについて
 - (1) 大規模地震が発生した場合、市、自治会、消防、消防団はどのように連携をとるのか伺う。
 - (2) 大規模地震発生時、大井川水系に点在するダムについて、どのような被害が想定されるか伺う。

2. 市のエネルギーについて
 - (1) 現在、島田市内にある発電設備で何世帯の電力が賄えるのか伺う。
 - (2) 今後、市では再生可能エネルギーを利用した発電施設の設置を推進していくのか伺う。

3. 市の人口減少について
 - (1) 現在、島田市では人口減少を防ぐためにどのような対策を講じているのか伺う。

10. 12番 河原崎 聖 議員 (一問一答)

1. 防災対策について

(1) 地域防災力の向上について

- ① 自主防災組織の育成及び防災訓練のあり方について、どのように考えているか。
- ② 防災リーダーの育成について、どのように進める考えか。

(2) 他の自治体との連携について

- ① 近隣の自治体との連携について、考えていることはあるか。
- ② 災害時相互応援協定のあり方など、他の自治体連携の方法について考えていることはあるか。

2. 道の駅の設置について

(1) 当局の見解を伺う。

11. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 東日本大震災への支援について

東日本大震災から3年である。

- (1) 島田市としては今までどのような支援をしてきたか。
- (2) 今後の支援はどのように考えているか。
- (3) 震災の教訓をどのように生かすか。

2. 市内小・中学校の教材について

- (1) 学習指導要領に日本の領土に関する記述がある。市の認識はどうか。
- (2) 小・中学校で使用する教科書、教材はどのように選定しているか。

3. 農地の有効利用について

- (1) 市内の農地の総面積と、耕作放棄地はどの程度か。
- (2) 通称、青地の転用はどのように行うのか。
- (3) 限られた土地を有効活用する手だてはあるか。

12. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

染谷市長が就任して初めての自前の予算が提案された。多くの市民の期待を背負っての行政運営について、議会の一員としてしっかり検証していかなければならないと思っている。

選挙の争点では、川根温泉ホテル建設の中止やハコモノ行政に対する市民の批判が、選挙結果に大きく作用したと感じている。

川根温泉ホテル建設は、既に発注されており、なおかつ、川根地区の雇用と活性化に寄与するとの判断から継続したことは、懸命な判断であったと評価する。

今回の質問では、その川根温泉ホテルの所期の目的に沿った運営が行われることの確認と、市民が染谷市長に対し、最も期待を寄せている新病院建設について、質問したいと思う。市民の期待に応える答弁をお願いし、以下質問する。

1. 市民病院の建設場所と予算規模は

- (1) 新病院建設のプロポーザルによる募集方法の作成は、市職員、関係者だけで行ったのか。業者の介入の有無を問う。
- (2) 基本構想の取りまとめ期限が7月31日と決めたのは誰のどのような判断からか。
- (3) プロポーザルに応募したコンサルタント(業者)は何社か。
- (4) プロポーザルに市長の思いは入れられていたのか。
- (5) 議会では特別委員会を設置して建設場所について調査している。調査期間は2年間を想定していた。議会对応(特別委員会の提言)をどのように考えているか。
- (6) 将来の市民病院のあり方、場所と規模、予算についてどのような考えか。市長の考えを問う。

2. 川根温泉ホテルの運営と事業目的について

- (1) 川根温泉ホテル建設の事業の目的を確認のため問う。
- (2) 指定管理者が株式会社時之栖に決まった。最大の理由は何か。
- (3) 地域に根差している株式会社川根町温泉が選ばれなかったが、温泉の管理運営の影響は考えられるか。
- (4) 株式会社時之栖がホテルを運営する際、見込まれる地元従業員の雇用は何人か。
- (5) 食材などの仕入れ先は市内業者が優先されるのか。
- (6) 事業目的に沿った運営がされているか。チェックをどのように行うのか。
- (7) 大井川鐵道と川根温泉ホテルとの連携をどのように考えているか。

13. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 公共交通としての大井川鐵道への対応について

平成26年度施政方針において、「子どもをはじめ高齢者などの弱者対策も必要かつ重要な施策として計画へ盛り込んでおります。一例を申し上げます、移動手段を持たない交通弱者のためのコミュニティバスの運行がございます。市民の皆さまの日常生活における利便性を確保するため、大井川鐵道も念頭に置きつつ、地域公共交通の在り方の見直しについて計画に盛り込んだ」と述べている。開業以来、沿線の住民の大切な「足」として川根本町（旧本川根町、旧中川根町）島田市（旧川根町、旧金谷町）の大勢の生徒や児童が利用し、高齢者の大切な移動手段として利用されてきた。しかしながら、2月3日に経営の悪化に伴う大幅な減便が発表され、利用者に大きな波紋が広がっている。そこで、公共交通としての大井川鐵道に対しての島田市の対応を以下伺う。

- (1) 大井川鐵道が支援を求め設置を要望した「地域公共交通事業に関する協議会」の内容について
 - ① 協議会の構成メンバー及び開催スケジュールについて
 - ② 協議会での予想される協議内容は何か。
 - ③ 島田市として支援策をいかに考えているか。
- (2) 過去に実施された大井川鐵道に対する支援策はあるか。
- (3) 現在運行されている川根地区から川口までの試行運行バスの大井川鐵道に対する影響をいかに考えるか。
- (4) 減便に対する島田市としての市民への対応策はどのようなものを想定するか。

2. 観光振興と地域活性化の取り組みについて

平成26年度予算の大綱において、観光の振興に対して「本市への誘客を一層推進するとともに、新たに志太3市と川根本町による広域連携による観光振興を推進し、国内外からの観光交流人口の増加による地域の活性化を目指す」と述べている。そこで以下伺う。

- (1) 島田市内の観光施設への入込客の動態をどのように把握、分析しているか。
- (2) 観光客が島田市に与えた経済効果を算出しているか。
- (3) 島田市内の観光施設を連携させる施策をいかに考えてきたか。
- (4) 志太3市と川根本町との広域連携の具体施策は何か。
- (5) 新東名高速道路、富士山静岡空港、JR東海、大井川鐵道などの交通インフラを利用した観光振興の施策をいかに考えるか。

14. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 「ふるさと納税」について

- (1) 現在までの金額、納税人数、地域について伺う。
- (2) 現在までの取り組みと反省点を伺う。
- (3) 来年度に向けての取り組みに変更点はあるか。

2. 教育について

- (1) 学力低下が叫ばれているが教職員の人数は足りているか。
- (2) 他施設等不足している物はあるのか。
- (3) 部活動の設置、廃部基準は何か。

3. 防災について

- (1) 9月と12月に行われた防災訓練での問題点は何か。
- (2) ライフライン等の備えは万全か。

15. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1 子ども・子育て支援新制度について

平成27年4月から、子ども・子育て支援新制度がスタートする。島田市においては市の責任で行う保育所保育と、保護者との直接契約制度で行うその他の施設での保育が併存し、保育環境や保育条件に違いが出ることも予想される。少なくとも、今ある保育の水準を維持し、安心して子育てできるために市の施策の充実を求め、以下伺う。

- (1) 新制度において、市内にある保育園、認定こども園、地域型保育施設の実態はどうか。入所手続き、保育状況、保育料はどう変わるのか。
- (2) 平成25年度末の市内の認可保育園16園の入所状況はどうか。また、平成26年度の入所希望状況はどうか。
- (3) 保育園の待機児対策はどうか。新制度の中で解消されていくのか。
- (4) 後期基本計画では、「かわね保育園の民営化を推進する」とあるが、少子化が進む中で、入所者数は減少傾向だ。川根地区の保育環境を充実させるために、公立保育園として存続すべきだがどうか。
- (5) 地域子ども・子育て支援事業である放課後児童クラブについて伺う。
 - ① 市内15カ所の放課後児童クラブの利用状況と平成26年度の見込み数はどうか。
 - ② 今後の増設計画はどうなっているか。
 - ③ 対象年齢の拡大や時間延長が必要だと考えるがどうか。

2 浜岡原発の再稼働に向けた動きへの市の対応について

中部電力は、2月14日に浜岡原発4号機の「規制基準適合審査申請」を行った。これは、再稼働申請そのものであり、市民アンケートに示された浜岡原発の再稼働に不安を持っている多くの市民の声に反するものだ。市の浜岡原発に対する対応について以下伺う。

- (1) U P Z 圏（緊急時防護措置準備区域）内の自治体5市2町の首長が、中部電力との安全協定締結を視野に入れた協議を始めたと聞いている。安全協定書の中に、福島第一原発事故の教訓を生かし、立入調査や事前了解、損害賠償条項を入れるべきと考えるがどうか。
- (2) 原子力災害の避難計画の進捗状況はどうか。
- (3) 浜岡原発は東海地震の震源域の真上に建ち、世界一危険な原発だ。

また、南海トラフと南西諸島海溝との連動によるマグニチュード9.6クラスの超巨大地震も予測される。過酷事故を二度と起こしてはならない。市長は、浜岡原発の永久停止・廃炉を求め、内外に宣言すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

16. 6番 森 伸 一 議員 (一問一答)

1. 海軍技術廠牛尾実験所跡遺跡の今後について

2月6日の静岡新聞に「遺跡の現物を保存する可能性を否定」と牛尾山実験所跡遺跡に対する市長の考えが掲載されていたが、これについて以下伺う。

- (1) 記者会見の三日後に東京から専門家が来ることになっていたが、専門家の話を聞く前に方針を述べた理由は何か。
- (2) 来年度一年かけて調査報告がまとめられるようだが、その過程で遺跡の重要性が指摘される可能性もあり、しばらく遺跡をそのままにした形で掘削工事を進めるような要望を国土交通省に出すべきだと思いがいかか。

2. スポーツ関連事業とまちの活性化などの波及効果について

市内にはいろいろなスポーツ施設やハイキングコースがある。どのような活用法、将来像を考えているか以下伺う。

- (1) 田代の郷陸上競技場について工事が中断しているが、どんな見直しを考えているか。
- (2) 来年度、八高山周辺観光施設整備が計画されているが、その内容は何か。また、東海自然歩道や千葉山周辺、東光寺（猿舞の里）など既存のハイキングコースの利用状況や問題点についてどんな把握をしているか。
- (3) 横井運動場公園サッカー場の人工芝化が計画されているが、どのような規模の試合や利用形態を考えているか。将来的には観客席をつくる予定はあるか。

3. 新病院基本構想策定について

新市民病院について策定委託業者も決まり業者による情報収集・調査などが始まった。これに伴い、市としても今まで集めた資料提供や検討課題などの説明を業者に行っていると思う。その内容について以下伺う。

- (1) 建設地については複数の候補地を紹介し、その中から決定するような形にするのか。
- (2) 病院の病床数など規模については地元医師会など医療関係者、療養型も含め高齢者施設の方などの意見も参考に総合的に判断すべきと考えるが、策定業者のために意見交換をするような場を設定するつもりはあるか。